

広島県糖尿病療養指導士認定試験のための糖尿病療養指導自験例の記録

症例番号: ①・2・3・4・5

受付番号(8ケタ):

氏名:

※分かる範囲で数値や薬品名を記入してください、選択肢については○で囲んでください

医療職 | 看護師・准看護師・助産師・保健師・管理栄養士・栄養士・**薬剤師**・臨床検査技師・理学療法士・歯科衛生士・作業療法士

1. 症例 ID : ( 12345 ) 年齢: ( 50 ) 歳 性別: 男・女  
 指導期間 : ( 2012 ) 年 ( 4 ) 月 ( 1 ) 日 ~ ( 2012 ) 年 ( 6 ) 月 ( 1 ) 日 ( 入院・**外来**・在宅 )

2. 療養指導開始時の患者の状態

- (1) 病型 : 1 型・**2 型**・妊娠糖尿病・その他( )  
 (2) 罹病期間 : 約 ( 7 ) 年  
 (3) 嗜好品 : 飲酒 - **+** 喫煙 **-** +  
 (4) 体格 : 身長 ( 170 ) cm 体重 ( 77 ) kg BMI ( 26.6 ) kg/m<sup>2</sup>  
 (5) 検査データ : HbA1c ( 8.0 ) %  
 (6) 合併症 : 網膜症 - **+** ( **単純**・前増殖・増殖 )  
 併発症 腎症 **-** + ( 病期 1・2・3・4・5 )  
 神経障害 - **+** 空欄や○印の囲いがないのは記入漏れと判断され、  
 動脈硬化症 **-** + 再提出となります。わからなければ不明と記入して下さい。  
 高血圧症 **-** +  
 脂質異常症 - **+**

3. 療養指導開始時の医師の治療方針

- (1) 食事療法 : 指示エネルギー ( 1700 ) kcal/日  
 減塩 **-** + ( ) g/日  
 蛋白制限 **-** + ( ) g/日  
 (2) 運動療法 : - **+** ( 具体的内容: 8000 歩/日 )  
 (3) 薬物療法 : 経口糖尿病薬 - **+**  
 ( 薬品名: アマリール(3) 1T、メット2T、セイブル3T )  
 : インスリン - **+**  
 ( 薬品名: ランタス ) 合計単位 6 単位/日

4. 本症例に行った療養指導

- ①この症例の療養指導上の問題点(あなたの職種から見て) ③主治医やチームの他職種との連携  
 ②その問題点への対応 ④あなたの指導による患者さんの変化
- ① 経口血糖降下剤のみでは血糖コントロール不良のため、BOT(Basal supported oral therapy)に切り替えられたがインスリン治療は初めてであり、かつ外来での導入であり、インスリン注射手技の指導および低血糖への対策に重点を置いた。また、自己血糖測定も今回から始めたため、その手技も完全取得させることを目標とした。
- ② インスリン自己注射の手段を自信がつくまで十分に指導し、自己血糖測定法も自ら施行させ納得できるまで指導した。また、低血糖症状も説明し、ブドウ糖を常に持参しておくよう説明した。
- ③ 医師よりランタスを少量から始め漸増すること、網膜症も合併しているため急激な血糖低下に留意する旨説明があり、血糖測定を規則正しく行うことを重視した。また肥満があり、脂質異常症も合併しており、栄養士からも再度食事指導を行ってもらった。
- ④ 2ヶ月でHbA1cは8.0から7.4に改善し、体重も4kg減量に成功した。低血糖発作は1回生じたが、適切な対処ができた。